
4 エレクトリカル

4・1	ライティング	4-2
4・2	メーター	4-5
4・3	ビジュアル	4-6

4・1	ライティング
-----	--------

■機構説明

1. ヘッドランプ

- 従来よりツアラーSおよびツアラーVに採用のディスチャージヘッドランプをツアラーにも採用しました。

2. コンライトシステム(ツアラー系)

- 従来より採用のコンライトシステムを、ツアラー・ツアラーSおよびツアラーVに標準設定しました。
- コンライトスキャナーによる従来の制御を廃止し、新たに採用のライトコントロールセンサーおよびMPX ボデーコンピューターによる制御に変更しました。
これに伴い、システムを制御する回路を従来のコンライトスキャナー内蔵からMPX ボデーコンピューターに内蔵しました。
なお、基本的な作動は従来と同様です。
- コンライトシステムの作動は、従来と同様ライトコントロールスイッチをAUTO位置に操作することによって行います。なお、ヘッドランプのロービーム・ハイビームの切り替えは手動で行います。
- ライトコントロールセンサー関係に異常が生じた場合に、フェイルセーフ制御を行う回路をMPX ボデーコンピューターに内蔵しました。

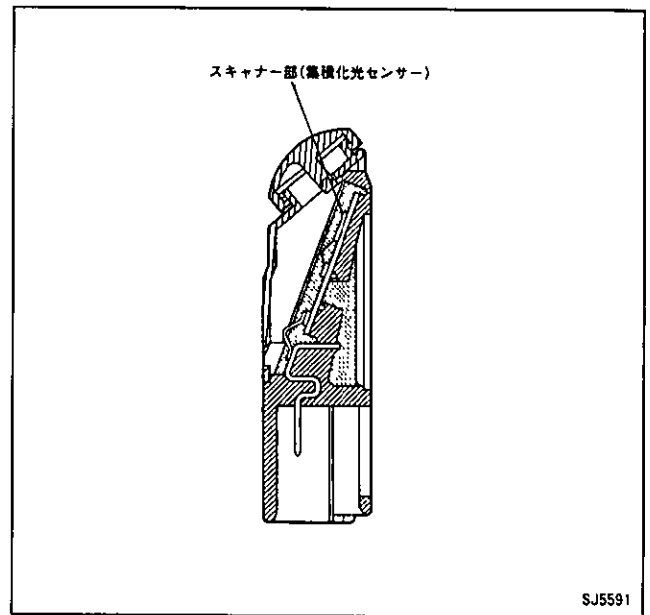
▶構造と作動

【1】構造

(1) ライトコントロールセンサー

自車の周囲の照度をスキャナー部(集積化光センサー)によって検知し、周波数信号としてMPXボデーコンピューターに出力します。

取り付け位置は、従来と同様インストルメントパネル右側上部としました。



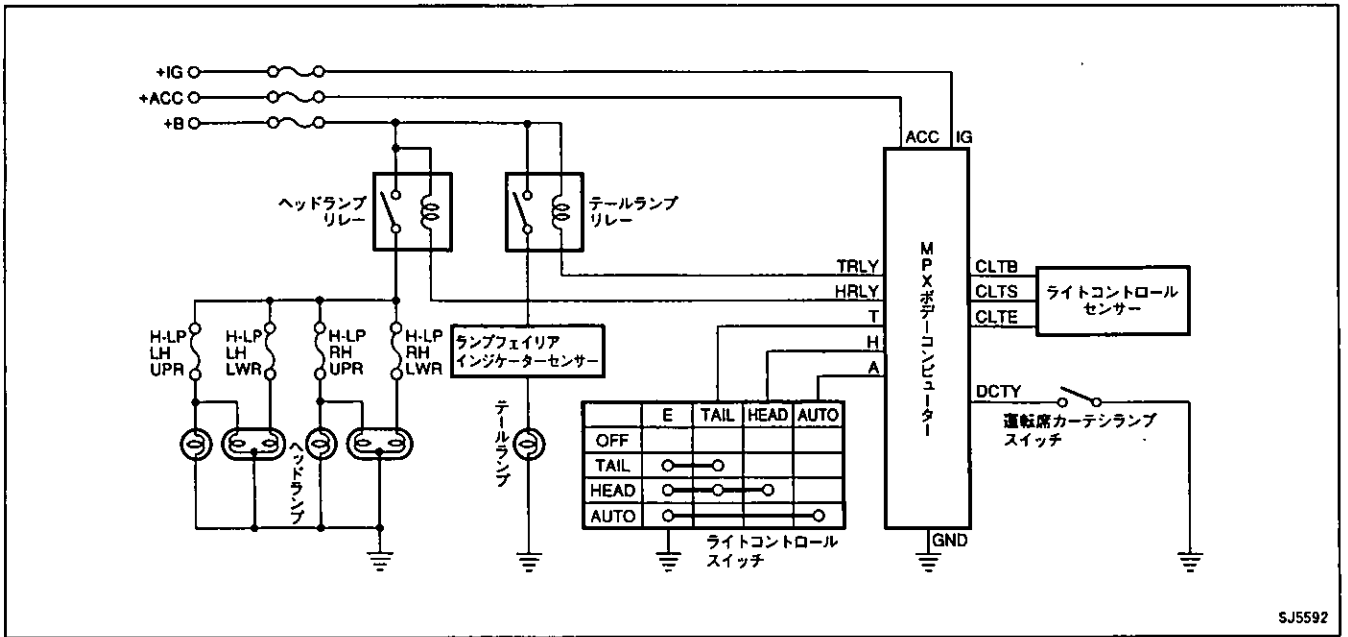
(2) MPX ボデーコンピューター

ライトコントロールセンサーからの照度を周波数信号として入力し、自動的にテールランプおよびヘッドランプを点灯または消灯させます。

また、フェイルセーフ機能を備えており、ライトコントロールセンサーによる照度信号入力に異常を検知した場合には、イグニッションスイッチ ONでライトコントロールスイッチのポジションがAUTO位置であればヘッドランプおよびテールランプを現在の作動状態で保持させるとともに、ライトコントロールセンサーによる制御を停止します。

取り付け位置は、従来と同様インストルメントパネル内運転席右側下部としました。

【1】作動



SJ5592

3. ランプオートカットシステム(ツアラール系)

- ヘッドランプおよびテールランプの消し忘れを防止するランプオートカットシステムを採用し、ツアラール・ツアラールSおよびツアラールVに標準設定しました。
- システムの制御を行う回路をMPXボデーコンピューターに内蔵しました。

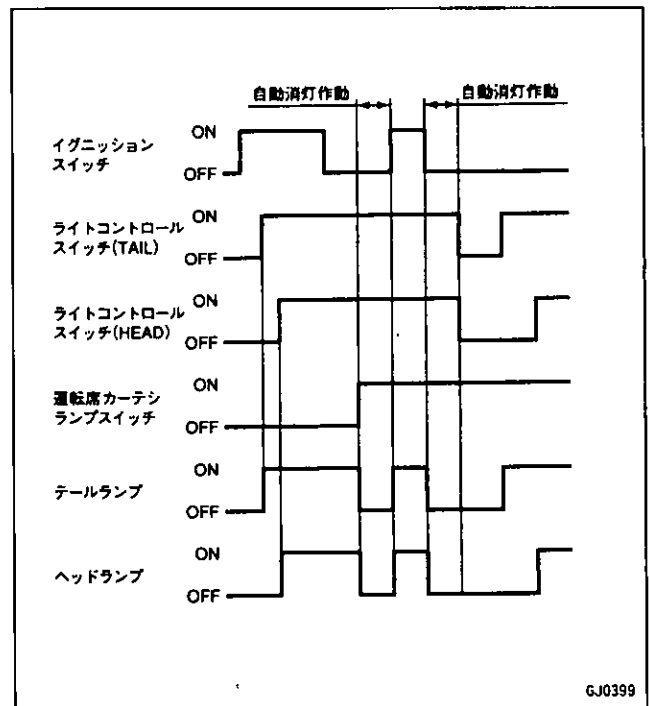
▶構造と作動

【1】機能

イグニッションスイッチおよびライトコントロールスイッチ(ヘッドまたはテール)がONの状態から、イグニッションスイッチをOFFし、運転席のドアを開く(運転席カーテシランプスイッチ ON)と、ヘッドランプおよびテールランプは自動的に消灯します。

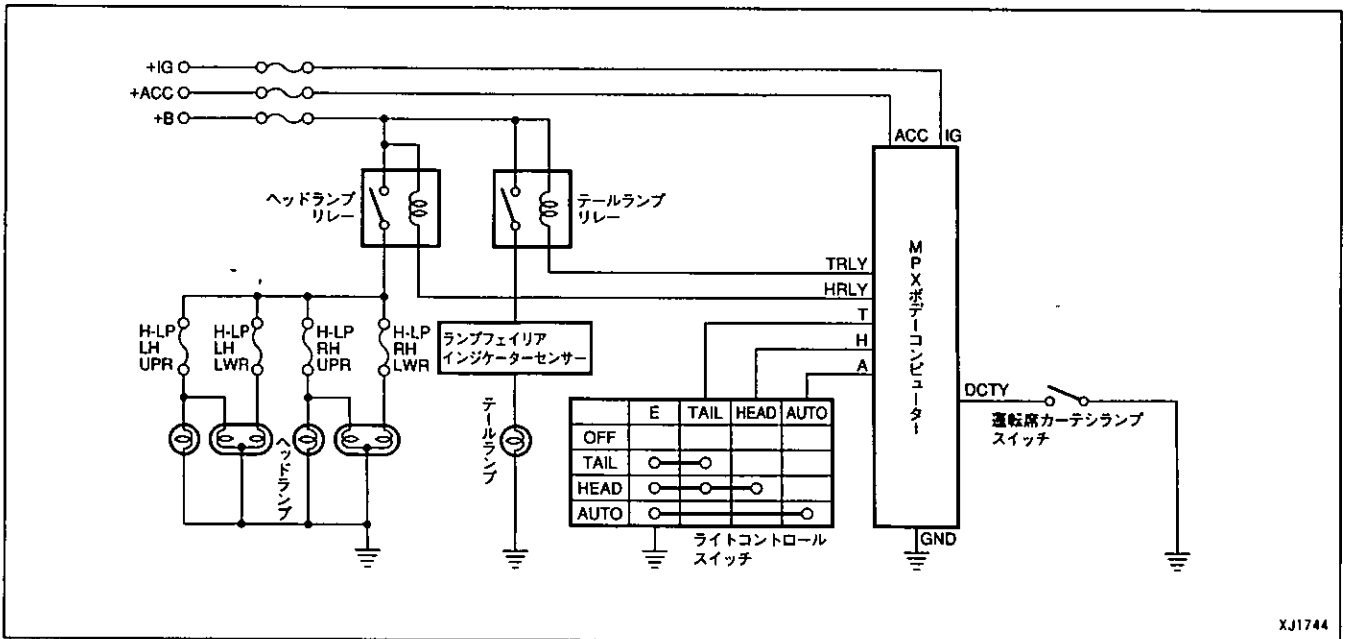
また、イグニッションスイッチがONの状態から、運転席のドアを開いて(運転席カーテシランプスイッチ ON)、イグニッションスイッチをOFFしても、ヘッドランプおよびテールランプは自動的に消灯します。

なお、自動消灯(ライトコントロールスイッチ ON状態)の後に再度ライトコントロールスイッチをONすることにより、ヘッドランプまたはテールランプは点灯します。



GJ0399

【2】作動



作動一覧

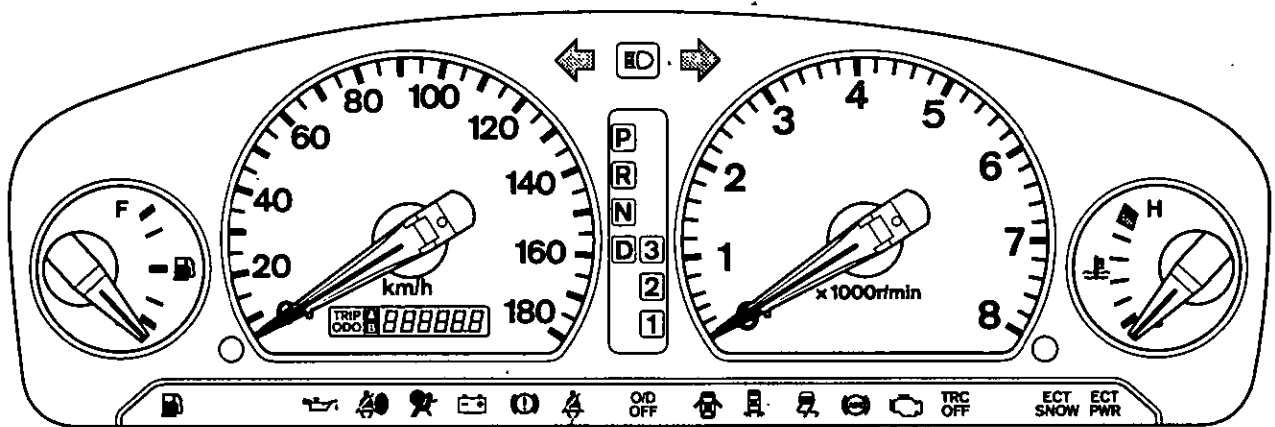
作動名	条件	基本作動
通常点灯作動	・イグニッションスイッチ ONで、ライトコントロールスイッチをON(ヘッドまたはテール位置)した場合。	イグニッションスイッチをONした状態で、ライトコントロールスイッチをON(ヘッドまたはテール位置)すると、MPXポデーコンピューターは、ヘッドランプリレーをONまたはテールランプリレーを介してランプフェイリアインジケータースエンサーにテールランプ ON信号を出力するため、ランプが点灯します。
自動消灯作動	・前記の通常点灯作動の状態からイグニッションスイッチをOFFし、さらに運転席ドアを開けた(運転席カーテシランプスイッチ ON)場合。	前記の通常点灯作動の状態からイグニッションスイッチをOFFすると、MPXポデーコンピューターは、ヘッドランプリレーまたはテールランプリレーを介してランプフェイリアインジケータースエンサーにテールランプ ON信号を出力させ続けランプの点灯を継続します。この状態から、運転席ドアを開ける(運転席カーテシランプスイッチ ON)と、MPXポデーコンピューターは、運転席カーテシランプスイッチ ON信号を入力することにより、ヘッドランプリレー OFFまたはテールランプリレーを介してランプフェイリアインジケータースエンサーにテールランプOFF信号を出力し、ランプを消灯させます。なお、ランプオートカットシステム作動後、ライトコントロールスイッチ ON→OFFまたはイグニッションスイッチをONすることにより、ランプオートカットシステムは解除され、マニュアル作動となります。
自動消灯後の点灯作動	・前記の自動消灯作動(イグニッションスイッチ OFF、ライトコントロールスイッチ ON)の状態から、いったんライトコントロールスイッチをOFFし、再度ONした場合。	前記の自動消灯作動後にライトコントロールスイッチをOFFし、再度ONすると、MPXポデーコンピューターにライトコントロールスイッチ OFF→ON信号が入力されます。この入力信号により、MPXポデーコンピューターは、ヘッドランプリレーおよびテールランプリレーを介してランプフェイリアインジケータースエンサーにテールランプ ON信号を出力し、ランプを点灯させます。なお、ライトコントロールスイッチ OFF→ON信号入力後は運転席ドアの開閉(運転席カーテシランプスイッチ ON/OFF)に関係なくランプは点灯します。

4・2	メーター
-----	------

■機構説明

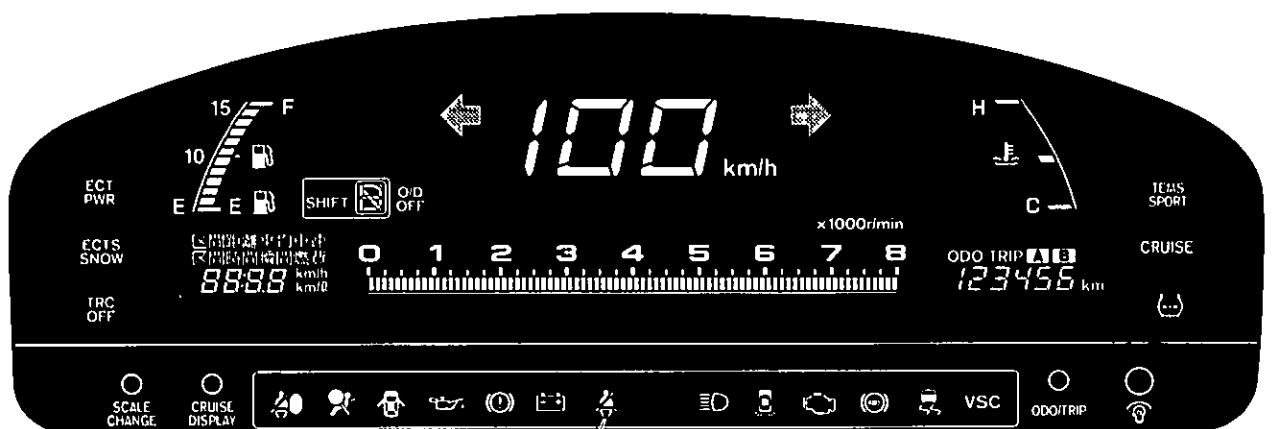
1. コンビネーションメーター

- 全車、シートベルト非着用ウォーニングインジケータランプの警告方法を、従来の点灯式から点滅式に変更しました。なお、点滅制御は、ソケット内に点滅回路を組み込んだLEDによって行うものとなりました。
- 2JZ-GE・1JZ-GTE・1JZ-GE・1G-FE エンジン搭載車の排気温ウォーニングインジケータランプを廃止しました。



シートベルト非着用ウォーニング
インジケータランプ

オプティロンメーター



シートベルト非着用ウォーニング
インジケータランプ

スペースビジョンメーター

注)イラストのオプティロンメーターは1JZ-GEエンジン搭載車で表現してあります。

4・3	ビジュアル
-----	-------

■機構説明

1. “ワイドマルチ AV ステーション”

- ナビゲーション(地図)モードに、従来からの機能に加えて一部機能を追加することにより、使用性の向上をはかりました。
(GPS ボイスナビゲーションシステム装着車のみ)

▶構造と作動

【1】表示と機能

〔1〕ナビゲーション(地図)モード

以下の機能を追加しました。

追 加 機 能	機 能 内 容
50音検索	目的地設定およびメモリ地点設定において、施設名称を50音で入力することにより、地図を検索して表示することが可能。
メモリ地点の拡張機能	メモリ地点の拡張機能として、メモリ地点毎に迂回地点・音声付き・方向音声付きの ON/OFF 設定が可能。
通過点の使用条件詳細設定	通過点の使用条件変更において、 <u>別ルート</u> スイッチにより、ルート計算条件の選択が可能。
シティードライブモード	一般道路走行時に右左折方向と距離を表示。(シティードライブモード) なお、高速道路走行時には従来からのハイウェイ情報モードを表示。
ナビ研*Ver.2.1による音声経路案内	ナビ研ソフト CD(Ver.2.1)を使用した音声経路案内が可能。 ただし、地図や経路のデータはナビ研ソフト CD のデータを使用。

*：ナビゲーションシステム研究会。